

仕様書

1 件名

平成22年度地球規模課題国際研究ネットワーク事業(国際研究ネットワーク形成等の推進) 委託事業

2 事業目的

「地球規模課題国際研究ネットワーク事業(国際研究ネットワーク形成等の推進)」については、「地球規模課題国際研究ネットワーク事業(国際共同研究等の推進)」と合わせて、一つの事業の枠組みを形成しており、全体として、国際研究に取り組む我が国研究機関のネットワーク形成を推進しつつ、同時に、国際共同研究等を推進し、我が国が対応すべき食料安全保障分野、環境・資源分野の国際的な課題解決に貢献することを目指すこととします(全体については、別添参考を参照。)

「地球規模課題国際研究ネットワーク事業(国際研究ネットワーク形成等の推進)(以下、本事業といいます。)」では、農林水産省農林水産技術会議事務局(以下「農林水産技術会議事務局」といいます。)が国際研究ネットワークの形成等の推進のため、公募により設置するセンター機関(以下「センター機関」といいます。)に対して委託を行い、国際研究に取り組む農林水産分野の国内研究機関の国際研究ネットワークを形成し、国際研究に取り組む国内研究機関の知識・経験の共有等を推進するとともに、今後の国際研究の取組に関する方向性を示すことによって、国内研究機関による国際研究の取組を拡大することを目的とします。さらには、これらの取組を通じて、我が国が対応すべき食料安全保障分野、環境・資源分野の国際的な課題解決に貢献することを目指します。

3 事業内容

地球規模課題研究ネットワーク事業におけるセンター機関として、農林水産技術会議事務局国際研究課と緊密に連携しつつ、国内の農林水産分野の研究機関による国際研究ネットワーク形成に取り組めます。

具体的には、国内研究機関を主な対象に以下の事項に取り組むこととします。

(1) 国際研究分野における技術的な目利き、将来予測等

特に農業分野における温室効果ガス排出削減・吸収等の分野において、国内にある技術シーズ等について、今後国際研究に取り組むことで課題解決に貢献できる見通しのものについて整理し、その将来予測を行うこととします。具体的には、当該分野や類似の分野での国際研究でのこれまでの主要な成果等を明らかとするため、概ね5名(3~6名)の有識者から構成される検討会議を2回以上開催し、検討会議資料、検討会議の検討内容等を整理して報告書として取りまとめることとします。

(2) 国際研究に関するシンポジウムの開催

(1)の成果、関連コンソーシアムの活動状況等を踏まえながら、国内の研究者、技術者、関係者等を対象に、情報交換、交流、連携強化等を図るためのシンポジウム又はワークショップ(以下「シンポジウム等」といいます。)を国内から概ね40名の参加、海外から1カ国以上が参加のもと、年1回国内で開催することとします。

このシンポジウム等の開催に当たっては、今後の国際研究の拡大に資す

る基礎資料として、これまでの国際研究の取組事例を調査し、取りまとめ、シンポジウム等で公表することも含めることとします。

(3) 国際共同研究の成果等の幅広い普及

(1)、(2)の成果や、「地球規模課題国際研究ネットワーク事業（国際共同研究等の推進）」におけるコンソーシアムの活動、これまでの農林水産分野における国際共同研究の主要な成果等について、インターネットを使って、広く情報提供を図ることとします。

また、国内研究機関のネットワーク化を推進する観点から、インターネットを活用した国内研究機関の連携、ネットワーク形成等に取り組むこととします。

4 事業期間

平成22年度事業であるため、平成23年3月22日までに本事業に係るすべての業務を終了することとします。ただし、事業開始日は、委託契約締結日以降とします。

なお、実施スケジュール及び実施体制を契約締結後10日以内に提出することとします。

5 成果物

調査報告書	20部	及び	CD	3枚
ホームページのプログラム			CD	3枚

(別添参考) 地球規模課題国際研究ネットワーク事業の全体の取組方針

(趣旨)

世界的な食料供給への懸念、地球温暖化の影響の顕在化等地球規模の様々な課題への対応が大きな課題となっている。こうした中、我が国は温室効果ガス削減の高い目標を掲げ、技術開発を進めながらその実現を主導していくこととしている。さらに、G8首脳会合等国際社会において研究開発、新技術に対する期待が一層高まっている。こうしたことから、今後は、課題解決に向けて我が国の研究機関の一層の連携強化を図り、課題解決に向けた取組を強化することが必要となっている。

このため、国際研究に取り組む国内機関の国際研究ネットワークの形成を推進するとともに、我が国や海外の研究機関の間の国際共同研究等を通じたネットワークの形成等を推進する。

(取組内容)

国際研究ネットワークの形成等の推進のため、センター機関を設置して、国際研究分野における技術的な目利き、将来予測、国際共同研究の成果等の幅広い普及、国際研究全般に関するシンポジウム開催等を行う。

また、国際共同研究等を推進するため、ハブ機関を中心とした複数の研究機関からなるコンソーシアムにより、食料安全保障分野及び環境・資源分野における3つの研究テーマの国際共同研究等に取り組み、必要に応じて海外調査、国際ワークショップ等の開催等に取り組む。

地球規模課題国際研究ネットワーク事業 全体の模式図

